

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年 2月25日
NO.19

過去最高増収増益！ 大幅ベースアップを勝ち取ろう！！

他労組の組合員の皆さん！春闘の交渉が各企業そして JR 東海も始まっています。そのような中で、企業側代表である経団連は、「ベースアップの実施余地はない」ばかりか定期昇給の凍結についても言及し、私たち労働者との隔たりは大きいといえます。その背景には、今年4月から、希望者に対して原則65歳まで再雇用が義務づけられることも、抑制する要因といわれています。

しかし、トヨタをはじめとした大手企業132社の内部留保金1%分を使えば簡単にベースアップは可能となるばかりか、42万7000人の雇用者の拡大につながるといわれています。そして JR 東海会社には内部留保金が1兆9,327億円もあるそうですから取締役報酬の増額だけではなく社員の生活に活力とゆとりを与えるためにもベースアップの実現が必要不可欠です。

ところが主要な労働組合の大半は、定昇維持・一時金の要求額を増やすことに重点を置き賃金体系を底上げするベースアップは4年連続見送ろうとしています。ところでなぜベースアップが重要なのでしょうか？

ベースアップ2,000円で142万4千円！！

基本給のベースが2,000円アップすると年間で35,600円！
40年働くとして35,600円×40年=1,424,000円

例えば二十歳の社員の基本給に2,000円のベースアップとなれば、1年間で給与収入は24,000円、そして仮にボーナスが2.9ヶ月×2とすると1年間で11,600円（夏、冬5.8ヶ月×2,000円）これを合わせると年間給与は、35,600円上がったこととなります。仮に40年間働くとしてもベースアップの底上げ分は保証されますから、40年間で1,424,000円となります。

仮に一時金50,000円をもらったとしても、まさに一時金であり継続してもらえない保証はありません。このようにベースアップがいかに生涯賃金に大きく関わってくるのが分かります。さらに定期昇給も減額されることなく一定かもしくは増額されることが重要です（トヨタ6,500円、JR東海最大4,800円減額アリ）。基本給を底上げすることにより超過勤務手当等の手当についても基本給に反映されます。だからベースアップ・定昇増額が必要なのです。

最近ユニオンは職場集会を開いて本部に激布を書いて渡す取り組みがされていると聞いています。本部交渉団を励ます行為も大切な取り組みです。しかし一番大切なことは総団結の姿勢を見せるためのあらゆる取り組み（スト権確立等）が大事ではないでしょうか。